

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.92 (2023.11.27)

令和5年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
「顧客感動(CD)」から
「顧客ロイヤルティ(CL)」への挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

明治10年に和賀組を創業した「市蔵」の姉「ミサ」は、24歳で当時3歳の息子「市太郎」を岩崎に残し、単身函館に渡りました。明治政府誕生の8年前、1860年安政8年の頃と思われます。その6年前の1854年には日米和親条約に基づいて日本は伊豆の下田とともに函館を開港しました。この開港で函館は大きく変化し、外国人の渡来、五稜郭築城、洋式造船、キリスト教会など、それまでの縄文時代の様な文明から一挙に近代文明国家へと変貌する時代で、当時の函館はとてもエネルギッシュな街であったことが想像できます。

明治2年政府は「開拓使」を設け北海道の本格的な開拓に着手、欧米の文化・技術を積極的に取り入れ農業、鉱工業などの新しい産業を興し、交通を整備して開拓の基盤を固めました。また明治初期には新政府と対立して領地を失った旧会津藩・仙台藩など、東北地方の士族たちが多数北海道に移住しています。彼らは旧領主を中心に集団で移住し、主従の固い結束のもとに開拓を成功に導きました。明治17年1884年には鳥取県の士族が現在の釧路市に開拓のため移住し「釧路村」を設置しました。現在でも鳥取町の地名が残っていて鳥取小学校もありました。そうした縁で釧路市と鳥取市は1963（昭和38）年に姉妹都市提携を結び交流を続けています。また同時代に湯沢市からも釧路市に多数移住しており、湯沢市の地酒が販売されていたことなどの歴史的背景から、地酒を通じてのお互いの交流が続き、同じ年に姉妹都市が提携されました。

10月13日から三日間にわたり、釧路市・湯沢市および釧路市・鳥取市の姉妹都市提携60周年記念事業が開催され、市長・湯沢市議会・ゆざわ小町商工会の皆様他と共に釧路市に行き参りました。蝦名市長はじめ多くの皆様に大変歓迎されまして、今後相互訪問など様々な記念事業が計画されております。

「ミサ」は豪商荒谷氏と結婚して函館から釧路に移住し、夫亡き後は北海道庁を退職して斜里町議会議員となった「市太郎」と斜里町で過ごしました。今回当社としても縁が深い北海道釧路市を初めて訪問することができ感慨深いものがありました。今後ますます交流人口が増え、両市が発展することを願っております。



秋田指月(株)様安全祈願祭

和賀組・丸臣高久建設 JV で建設をする事になった、第五工場の安全祈願祭が10/6日強風の中無事に執り行われました。兵庫県の本社社長も兼務している足達社長は挨拶の中で、「中期経営計画の中でも当工場は電気自動車向け部品の重要な拠点となる」と期待を述べられておりました。



湯沢高校 80 周年

10月18日秋田県立湯沢高等学校創立80周年記念式典が湯沢文化会館で行われました。また祝賀会が湯沢グランドホテルで開催され、来賓として挨拶させて頂きました。



測量コンテスト

10/30 湯沢翔北高校雄勝校で雄勝建設業協会主催の測量コンテストが開催されました。サポートで協会員が入り、高校生とチームを組んで臨みました。優勝は「高嶋チーム」でした。

